

神戸市シルバーカレッジ 講義概要(シラバス)

コース 専 攻	健康ライフコース	専攻	対象学年	3 年
講義日	令和 8 年 10 月 15 日(木) 午後			
テーマ	放射線と健康			
講 師	兵庫医科大学 薬学部 教授 藤野秀樹			
講義内容 2011 年の福島第一原子力発電所の事故から 15 年経過しているものの、放射線・放射能に対する不安感は払しょくされておらず、近年のトリチウムを含む ALPS 処理水の海洋放出でも水産物に対する影響が懸念されました。これら諸問題の解決には放射線に対する正しい理解が重要であると考えています。 本講義では、放射線や放射能に関する正しい知識を深めるために、放射線の種類や特性を説明します。その後、身近に存在する食材や試薬などを用いた自然放射線の計測を行います。なお、本取り組みは薬学生による実演形式にて行う予定です。この他、産業利用として核医学診療を紹介し、PET 検査や放射性医薬品による核医学治療の意義を説明します。最後に福島第一原子力発電所の廃炉作業状況についても紹介させていただきます。				
講師からのメッセージ 放射線は身近に存在します。これらを実際に計測することで、放射線の特性が理解できると考えています。本講義を通じて放射線・放射能を正しく理解し、不安が払拭されることを期待しています。				

神戸市シルバーカレッジ 講義概要(シラバス)

コース 専 攻	健康ライフコース	専攻	対象学年	3 年
講義日	令和 8 年 10 月 15 日(木) 午前			
テーマ	くすりの話			
講 師	兵庫医科大学 薬学部 教授 藤野秀樹			
講義内容 薬剤は投与を繰り返すことで薬理効果が発揮されます。その為、薬剤の適正使用やコンプライアンス(服薬順守)が重要視されています。一般的に患者へ処方される薬剤数は平均 7 剤となっており、その併用数は患者の年齢と共に増加傾向にあります。また併用薬剤数が増加すると飲み合わせによる薬物相互作用が出現し、薬剤の効果が増強または減弱することも知られています。さらに高齢者は肝機能や腎腎機能の低下により、薬剤の解毒・排泄能力も低下する為、過量投与も懸念されています。このようにお薬の副作用や薬物相互作用の出現は正しく服用していても起こり得ます。 本講義では、お薬の適正使用の意義を理解して頂く為に実演形式によってお薬の反復投与の効果(血中濃度)について理解を深めて頂きたいと考えています。またお薬の効果を変化させるグレープフルーツジュースやサプリメントの影響についても理解を深めて欲しいと考えています。なお、本取り組みに一部に薬学生を交えた実演等も行う予定です。				
講師からのメッセージ なぜ、お薬は毎回決められた量を守って服用しなければならないのか？グレープフルーツジュースとの飲み合わせは何がいけないのか？ポリファーマシーって聞くけど、何が問題なのか？等のお薬の疑問について分かりやすく解説させていただきます。				